

人・農地プラン(和地・花川)

市町村名	地区名	作成年月日	直近の更新年月日
浜松市	和地・花川	R3.3.31	R5.3.31

【全体】

①地区内の耕地面積 (全農地-耕作放棄地)	502.5 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	360.0 ha

【田】



1. 水田の現状

①耕地面積 (全農地-耕作放棄地)	64.6 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	50.1 ha
③出し手面積(アンケート結果)	13.6 ha
i 耕作者がいない(管理のみ)	1.6 ha
ii 70歳以上・後継者いない	8.6 ha
iii 69歳以下・減らしたい	3.4 ha
④地区内において担い手農業者が引き受ける意向の農地面積	0.1 ha

2. 考察と課題

<和地地区>

- ・水田を耕作している担い手農業者は7名。うち耕作面積1ha以上の大規模な担い手農業者は1名
- ・水田の4%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。
- ・オイスカ高校東側の水田がまとまっていて、担い手農業者への集積が進んでいる。
- ・東名高速道路北側に耕作放棄地が増えている。

<花川地区>

- ・水田は6.7haと小さい。

3. 担い手農業者への農地の集積・集約化に関する方針

<和地地区>

- ・1名の担い手農業者が、計0.1haの耕作地拡大を希望している。

<花川地区>

- ・水田なし

【方針】耕作地拡大希望者へ農地を集積する。

【畑】



1. 畑地の現状

①耕地面積(全農地-耕作放棄地)	437.9 ha
②アンケート調査に回答した農地所有者 又は 担い手農業者の農地面積	309.9 ha
③出し手面積(アンケート結果)	83.0 ha
i 耕作者がいない(管理のみ)	5.3 ha
ii 70歳以上・後継者いない	53.3 ha
iii 69歳以下・減らしたい	24.4 ha
④地区内において担い手農業者が引き受ける意向の農地面積	25.2 ha

2. 考察と課題

- <和地地区>
- ・畑を耕作している担い手農業者は63名(露地畑作24名、ハウス畑作42名、露地果樹1名、ハウス果樹2名、茶3名、畜産1名、その他7名)
 - ・畑の21%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。
- <花川地区>
- ・畑を耕作している担い手農業者は13名(露地畑作7名、ハウス畑作2名、露地果樹1名、ハウス果樹1名、茶2名)
 - ・畑の38%が担い手耕作地または担い手以外の利用権設定地となっている。
- <両地区共通>
- ・ハウス作が多く、ハウス作の専業化により、露地畑の遊休化が進んでいる。
 - ・土地利用型耕作を中心に、新たな担い手農業者が進出している。
 - ・三方原台地の突端部であり、谷地、に耕作放棄地が存在する。

3. 担い手農業者への農地の集積・集約化に関する方針

- <和地地区>
- ・露地畑作、施設畑作を中心に19名の担い手農業者が、計22.1haの耕作地拡大を希望している。
 - ・1ha以上と広く面積を希望する担い手農業者が7名、計19.5ha
- <花川地区>
- ・露地畑作を中心に3名の担い手農業者が、計3.1haの耕作地拡大を希望している。
 - ・1ha以上と広く面積を希望する担い手農業者が2名、計3ha
- 【方針】耕作地拡大希望者へ農地を集積する。

【その他】

【令和4年度の動き】

- ・R5.3時点の担い手数 ※()内はR4.3からの増減
- <和地地区> 田:現数4名(0増、0減)、畑:現数57名(1増、2減)
- <花川地区> 田:現数0名(0増、0減)、畑:現数12名(0増、1減)
- ・バレイショ産地維持のための耕作地継承方策の検討(JA)
- ・11/22地域の話合い開催
- ・話合いのテーマ:農業が継続できそうなエリアと継続が難しそうなエリア
- ・話合いで出た意見:別紙